

特別企画：熊本県メインバンク調査

肥後銀行が 7 年連続の首位 ～ 信用金庫のシェアアップが光る ～

はじめに

2017年も引き続き、地方銀行の大型再編が注目された1年であった。2月には三重県を経営地盤とする第三銀行と三重銀行が経営統合を発表。3月には近畿で関西アーバン銀行・近畿大阪銀行・みなと銀行の3行が、4月には北陸で第四銀行と北陸銀行の2行がそれぞれ経営統合することを発表した。また、公正取引委員会の審査が長引いているが、九州でもふくおかフィナンシャルグループと十八銀行の統合合意がなされてから2年を経過した。

帝国データバンクでは、地元における金融機関の存在感を示す一つの指標として、企業側が認識している「メインバンク」を集計し発表している。金融機関同士の貸出競争の激化やマイナス金利政策による収益悪化が叫ばれる中、経営環境は大きく変わりつつある。

帝国データバンク熊本支店では、2017年10月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約147万社収録、特殊法人・個人事業主含む）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計・分析した。

なお、同調査は2017年6月に続き7回目。

■ 本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有している企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとして集計した

調査結果(要旨)

1. 上位 20 行の順位に変化はないが、信用金庫がシェアをアップしている。
2. 全業種で 1 位肥後銀行、2 位熊本銀行の構図は変わらず、肥後銀行は製造業でシェアアップ。
3. 年商規模別では、規模が大きくなるにともなってシェア争奪が激しくなる傾向にある。

1. 上位 20 行ランキング ～順位には変動なし～

熊本県下の企業がメインバンクと認識している金融機関の 1 位は**肥後銀行**（熊本市）の 11,786 社（シェア 59.0%）で、調査開始以来 7 回連続で圧倒的な首位を堅持している。2 位は**熊本銀行**（熊本市）で 3,935 社（同 19.7%）となり、両行ともに社数を増加させた。なお、上位 20 行の順位に変化はなかったが、**熊本第一信金**（熊本市）、**熊本中央信金**（熊本市）、**熊本信金**（熊本市）はそれぞれシェアを 0.1 ポイント伸ばしており、健闘が光っている。

■メインバンク社数上位20

順位	取引銀行名	本店 所在地	2017年		2016年	
			社数	シェア	社数	シェア
1	(1) 肥後	熊本市	11,786	59.0%	11,581	59.1%
2	(2) 熊本	熊本市	3,935	19.7%	3,853	19.7%
3	(3) 熊本第一信金	熊本市	879	4.4%	851	4.3%
4	(4) 熊本中央信金	熊本市	650	3.3%	634	3.2%
5	(5) 熊本信金	熊本市	572	2.9%	556	2.8%
6	(6) 天草信金	天草市	404	2.0%	399	2.0%
7	(7) 熊本県信組	熊本市	303	1.5%	304	1.6%
8	(8) 西日本シティ	福岡市	182	0.9%	179	0.9%
9	(9) 南日本	鹿児島市	159	0.8%	160	0.8%
10	(10) 商工中金	東京都	117	0.6%	113	0.6%

順位	金融機関名	本店 所在地	2017年		2016年	
			社数	シェア	社数	シェア
11	(11) 福岡	福岡市	112	0.6%	110	0.6%
12	(12) みずほ	東京都	91	0.5%	86	0.4%
13	(13) 三菱東京UFJ	東京都	86	0.4%	84	0.4%
14	(14) 三井住友	東京都	79	0.4%	80	0.4%
15	(15) 農林中金	東京都	45	0.2%	44	0.2%
16	(16) 北九州	北九州市	43	0.2%	42	0.2%
17	(17) 長崎	長崎市	37	0.2%	41	0.2%
18	(18) あまくさ農協	天草市	32	0.2%	31	0.2%
19	(19) 菊池地域農協	菊池市	29	0.1%	29	0.1%
	(19) 球磨地域農協	球磨郡	29	0.1%	29	0.1%

※()内は前年順位

2. 業種別ランキング ～全業種で肥銀がシェア 50%超を維持～

取引先の業種別分析においては、前年調査同様に各業種で**肥後銀行**が 1 位を独占している。また、前年調査時から全業種で 50%以上のシェアを獲得しているが、今回もこれを維持している。特に、サービス業では 63.6%、建設業では 62.6%と高いシェアを獲得しているが、何れも前回比ではポイントを下げています。一方、製造業では前回比で 1.2 ポイントシェアをアップさせており、設備投資に関わる案件などに強みを発揮している可能性がある。なお、**熊本銀行**は前年調査に続いて全業種で 2 位のシェアを獲得している。

■業種別メインバンク企業数ランキング(上位10行)

建設

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	3,808	62.6%	62.9%
2	熊本	1,199	19.7%	19.6%
3	熊本第一信金	256	4.2%	4.1%
4	熊本信金	219	3.6%	3.4%
5	熊本中央信金	189	3.1%	3.1%
6	天草信金	126	2.1%	2.2%
7	熊本県信組	74	1.2%	1.2%
8	西日本シティ	49	0.8%	0.8%
9	南日本	45	0.7%	0.7%
10	福岡	16	0.3%	0.3%

製造

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	914	59.3%	58.1%
2	熊本	277	18.0%	18.4%
3	熊本中央信金	55	3.6%	3.4%
4	熊本第一信金	54	3.5%	3.4%
5	熊本信金	33	2.1%	2.4%
6	三菱東京UFJ	24	1.6%	1.6%
	商工中金	24	1.6%	1.6%
8	西日本シティ	23	1.5%	1.6%
9	みずほ	22	1.4%	1.4%
10	天草信金	20	1.3%	1.3%

卸売

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	1,106	54.4%	55.0%
2	熊本	448	22.0%	22.4%
3	熊本第一信金	104	5.1%	5.0%
4	熊本信金	58	2.9%	2.7%
5	熊本中央信金	55	2.7%	2.6%
6	熊本県信組	39	1.9%	1.9%
7	天草信金	30	1.5%	1.4%
	商工中金	30	1.5%	1.3%
9	西日本シティ	25	1.2%	1.1%
10	南日本	24	1.2%	1.1%

小売

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	1,542	54.3%	54.0%
2	熊本	569	20.0%	20.5%
3	熊本第一信金	162	5.7%	5.6%
4	熊本中央信金	140	4.9%	4.9%
5	熊本信金	113	4.0%	4.2%
6	天草信金	76	2.7%	2.5%
7	熊本県信組	63	2.2%	2.3%
8	南日本	27	1.0%	1.0%
9	西日本シティ	21	0.7%	0.7%
10	みずほ	15	0.5%	0.5%

運輸・通信

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	341	50.4%	50.2%
2	熊本	155	22.9%	22.8%
3	天草信金	47	6.9%	7.1%
4	熊本第一信金	29	4.3%	4.2%
5	熊本中央信金	19	2.8%	2.9%
6	熊本信金	15	2.2%	2.3%
7	熊本県信組	14	2.1%	2.3%
8	商工中金	10	1.5%	1.4%
9	西日本シティ	9	1.3%	1.2%
10	福岡	6	0.9%	0.8%
	南日本	6	0.9%	1.1%

サービス

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	3,204	63.6%	64.3%
2	熊本	904	18.0%	17.6%
3	熊本第一信金	184	3.7%	3.6%
4	熊本中央信金	138	2.7%	2.7%
5	熊本信金	85	1.7%	1.7%
6	天草信金	76	1.5%	1.6%
7	熊本県信組	68	1.4%	1.4%
8	農林中金	38	0.8%	0.7%
9	西日本シティ	36	0.7%	0.8%
10	南日本	35	0.7%	0.7%

不動産

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	579	51.9%	52.0%
2	熊本	273	24.5%	24.0%
3	熊本第一信金	75	6.7%	7.1%
4	熊本信金	42	3.8%	3.7%
5	熊本中央信金	37	3.3%	3.4%
6	福岡	15	1.3%	1.5%
7	熊本県信組	12	1.1%	1.0%
8	西日本シティ	10	0.9%	0.9%
9	三菱東京UFJ	8	0.7%	0.7%
	南日本	8	0.7%	0.7%
	天草信金	8	0.7%	0.6%

3. 年商規模別ランキング ～大規模企業に県外金融機関の攻勢～

取引先の年商規模を6段階に分類した分析でも、前年調査同様に1位肥後銀行、2位熊本銀行の大勢は変わらなかった。

大幅な順位変動はないが、5億円以上10億円未満の段階では、前年は5億円未満でしかランクインしていなかった天草信金（天草市）が9位にランクインした。また、10億円以上50億円未満の段階では、商工中金（東京都）が前年の4位から3位にアップし、西日本シティ銀行（福岡市）が新たに8位にランクインした。

■年商規模別メインバンク企業数ランキング(上位10行)

5000万円未満

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	4,604	60.4%	60.6%
2	熊本	1,478	19.4%	19.3%
3	熊本第一信金	311	4.1%	4.1%
4	熊本中央信金	273	3.6%	3.5%
5	熊本信金	247	3.2%	3.2%
6	天草信金	176	2.3%	2.3%
7	熊本県信組	145	1.9%	1.9%
8	西日本シティ	47	0.6%	0.6%
9	南日本	41	0.5%	0.5%
10	みずほ	24	0.3%	0.3%

5000万円以上1億円未満

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	2,367	59.9%	60.0%
2	熊本	734	18.6%	18.6%
3	熊本第一信金	209	5.3%	5.0%
4	熊本中央信金	142	3.6%	3.6%
5	熊本信金	128	3.2%	3.1%
6	天草信金	102	2.6%	2.4%
7	熊本県信組	65	1.6%	1.7%
8	南日本	35	0.9%	0.9%
9	西日本シティ	32	0.8%	0.7%
10	福岡	18	0.5%	0.5%

1億円以上5億円未満

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	3,570	58.5%	58.6%
2	熊本	1,262	20.7%	20.4%
3	熊本第一信金	282	4.6%	4.6%
4	熊本中央信金	193	3.2%	3.1%
5	熊本信金	164	2.7%	2.8%
6	天草信金	113	1.9%	2.0%
7	熊本県信組	84	1.4%	1.5%
8	西日本シティ	70	1.1%	1.2%
9	南日本	58	1.0%	1.0%
10	福岡	36	0.6%	0.5%
	商工中金	36	0.6%	0.6%

5億円以上10億円未満

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	574	54.1%	53.6%
2	熊本	248	23.4%	23.9%
3	熊本第一信金	50	4.7%	4.5%
4	熊本中央信金	32	3.0%	3.1%
5	商工中金	29	2.7%	2.7%
6	熊本信金	17	1.6%	1.5%
7	西日本シティ	15	1.4%	1.5%
8	福岡	12	1.1%	1.4%
9	天草信金	10	0.9%	0.7%
10	南日本	9	0.8%	0.8%

10億円以上50億円未満

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	489	55.3%	54.7%
2	熊本	169	19.1%	20.3%
3	商工中金	23	2.6%	2.4%
4	福岡	21	2.4%	2.7%
5	熊本第一信金	20	2.3%	2.4%
6	みずほ	18	2.0%	1.8%
7	三菱東京UFJ	16	1.8%	1.7%
8	西日本シティ	15	1.7%	1.3%
	南日本	15	1.7%	1.6%
10	北九州	13	1.5%	1.2%
	農林中金	13	1.5%	1.4%

50億円以上

順位	取引銀行名	2017年 社数	シェア	前年
1	肥後	113	44.8%	45.8%
2	熊本	22	8.7%	8.8%
3	みずほ	16	6.3%	6.8%
4	農林中金	12	4.8%	4.4%
5	三井住友	11	4.4%	3.6%
6	三菱東京UFJ	10	4.0%	4.4%
7	福岡	5	2.0%	0.8%
	商工中金	5	2.0%	1.6%
9	信金中央金庫	4	1.6%	1.6%
	西日本シティ	2	0.8%	1.2%
10	北九州	2	0.8%	0.8%
	熊本信金	2	0.8%	0.4%
	日本政策金融公庫	2	0.8%	0.8%

4. まとめ

熊本県においては、前年調査に続き、各業種・各規模に関わらず幅広い地盤を持つ**肥後銀行**がトップシェアを握っていることがわかった。総じてシェアの順位に大幅な変動はないものの、年商規模が5億円を超えるとシェアの増減が大きくなる傾向が見られ、大口融資に対する競争激化を窺わせる結果となった。

熊本地震からの復興は道半ばであり、メインバンクが果たすべき役割は融資にとどまらず多様かつ重要になっている。また、国内金融業界ではマイナス金利下における収益力の低下などが深刻化しつつあり、過度な金利競争から脱却する新たなビジネスモデルの構築も急務と言える。

当面は、地元地銀である**肥後銀行**と**熊本銀行**のトップ2体制が崩れることはないが、2017年5月に金融庁が実施した企業向けアンケートでは、経営上の課題をよく聞いてくれる地銀ほど、利回りの低下幅が緩やかとなる傾向が明らかになっているように、メインバンクの立ち位置や営業姿勢は変化していくものと考えられる。

【問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 熊本支店 担当：水城利治
TEL：096-324-3344 FAX：096-354-4787

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。